

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	17	事業名	自律型人材育成事業				戦略コード	2	戦略名	プロ集団の商工会
担当部名	総務部		担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	9	施策名	プロ集団を育てる人材育成計画・戦略の策定と実行

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

小規模事業者が抱える経営課題は専門化・高度化してきていることから、これまで以上に職員一人ひとりが支援スキルのレベルアップを図っていく必要がある。

2. 事業のねらい

事業者が抱える経営課題の専門化・高度化に対応するため、職種を問わず、戦略的な支援スキルを身に付けた職員を育成することをねらいとする。

3. これまでの評価結果	過年度	H29	B	H30	B	R1	A	R2	A
--------------	-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

職員一人ひとりが主体的かつ計画的に能力開発するため、全職員が成長プランを作成し、高い支援スキルを身に付けるための5年間の目標を設定した。また、この成長プランに基づき、職員が自発的な資格取得に対する取組を、研修や人事評価等を通じて支援した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

職員一人ひとりの実効性のある成長プラン策定と人事評価制度との関連を明確にし、フォローアップ体制を確立するため、評価者及び被評価者への研修を実施する。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
36	「成長プラン」に基づく人材育成	職員個々の成長プランの推進に向けて、中堅指導員を対象にコミュニケーション力向上セミナーを実施し、OJTスキルの向上を図った。	a	a	a	A
37	自己啓発支援	財務戦略アドバイザー検定の受検を奨励したほか、中小企業診断士の育成事業を実施し、選抜された4名に対し、一次試験対策支援を展開した。	a	a	a	A
38	成長プランの策定・達成状況 (成長プランの取組実行度・達成度)	職員一人ひとりに対して個別面談を実施し、成長プラン策定の進捗確認及びフォローアップを行った。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	38					取組コード						取組コード					
指標名	成長プランの策定・達成状況					指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	試験導入	20%	30%	40%	50%	目標						目標					
実績	試験導入	16%	24%	100%	100%	実績						実績					
達成率	100%	80%	80%	250%	200%	達成率						達成率					
達成度	a	b	b	a	a	達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性

〈評価の理由〉

プロとしての商工会職員の育成にあたり、職員一人ひとりが将来のあるべき姿を具体的に設定し、その実現に向けて行動するためには必要不可欠な事業である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

職員一人ひとりが成長プランの策定し、プランに基づいた能力開発・人材育成につながっていることから、事業は有効である。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

成長プランに基づいた人材育成・能力開発が効率的かつ効果的に実施できている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

昨年度策定した成長プランにより、個々の人事評価面談を通じて効率的かつ効果的な能力開発・人材育成につながっている。

3. 課題

策定した成長プランを実効性のあるものにするため、面談等を通じた進捗管理及び実現に向けた管理者からの適切なアドバイスを行う必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

職員一人ひとりの実効性のある成長プラン策定と人事評価制度との関連を明確にし、フォローアップ体制を確立するため、評価者及び被評価者への研修を実施する。